



施策6 多文化共生と国際交流の推進

現状と課題

- 国際化の進展により、本市においても外国籍の住民が増加しています。また、市内には軍人軍属の居住者も多く、市民の身近な所で国際化が進んでいます。平成21年10月現在、都内26市の中では4.06%と高い外国人比率となっています。
- 日本語がわからない外国人住民が日本での生活に困らないよう、英語などの6箇国語で作成した「外国人のための生活便利帳」及びその「やさしい日本語版」を作成し、緊急時の対応方法や各種制度の情報提供を行っています。また、「防災マップ・洪水ハザードマップ」や「ごみ・リサイクルカレンダー」なども複数の外国語により情報提供を行っていますが、十分な理解が得られていない状況があり、更に充実した取組が必要です。
- 地域で安心して生活ができるよう、市民相互の異文化理解を図ることが重要です。このため、外国人を対象とした事業を実施し、また、文化交流やその他各種行事においても外国人住民が参加しやすいよう工夫に努め、交流の機会を提供することが必要です。そして、異なる文化や言語を持った外国人住民とともに生きることができる社会の実現が望まれています。
- 国際化が進む中、国際社会の一員として、広い視野を持って行動し、活躍ができる人材を育成していくことが求められています。このため、国際理解の学習、外国人との交流などの機会を提供していくことが重要です。

〔外国人登録者数及び外国人比率〕



出典：「総合窓口課資料」より算出

施策の方向

日本人と外国人の相互理解を図り、ともに地域で安心して生活できる社会を目指します。また、国際化社会に対応できるよう、国際意識を持つ人材を育成するため、国際交流の機会を提供します。

基本事業と取組

1 多文化共生と国際交流の推進

- 多文化共生社会（国籍や民族などの異なる人々が互いの文化を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと）を目指し、外国人住民が地域で安心して生活できる環境の整備に取り組みます。そして、外国人住民が日常生活に支障をきたすことのないよう、理解しやすい日本語や外国語により情報提供を行っていきます。更に、外国人を含めた防災訓練を実施し、外国人支援活動と連携・協力を行い、支援体制の整備を図ります。
- 学校教育における国際理解教育を充実するとともに、青少年の海外派遣事業を実施し、国際化社会に対応できる人材の育成に努めます。
- 外国人や外国の文化に対する理解が深まるよう、文化交流などの機会を提供します。

成果指標

指標名		現状値	目標値 (平成26年度)
指標1	市ホームページの対応言語数	1箇国語 (H20)	4箇国語

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業（取組）	事業費（千円）	主な事業（取組）
多文化共生と 国際交流の推進	ホームページ等の多言語による情報提供	1,800	
	文化交流の実施		
	外国人を含めた防災訓練の実施		
	国際交流青少年海外派遣事業	42,625	
	外国人のための生活便利帳の発行	5,346	

第③節 地域を誇りに思う福生人のはぐくみ

施策7 歴史・文化遺産の保全と継承

現状と課題

- 市内には、長い歴史の中で引き継がれてきた貴重な歴史・文化遺産が多数残されています。郷土の歴史や国指定史跡文化財の「玉川上水」、東京都指定有形文化財の「熊川神社本殿」などをはじめとする文化遺産を大切に、郷土に愛着と誇りを持てるよう、歴史と文化の継承に努めていくことが必要です。市内には、江戸時代から続くふたつの酒蔵があり、その周辺の歴史的景観と戦後に建てられたハウスと呼ばれる家屋なども歴史を物語る一つであり、本市ならではの特徴となっています。こうした魅力ある郷土を愛し、地域を誇りに思う心が「福生人」（福生を愛し、心に潤いをもたらす自然と歴史・文化を大切に、地域を誇りに思う市民）をはぐくんでいくことにつながります。
- 本市では、文化財総合調査を実施し、歴史資料等の所在の確認や資料の収集、整理を行い、貴重なものは文化財として保存に努めています。また、郷土資料室において、歴史文化資料の収蔵、展示をするとともに、講演会や講座・教室、学習会を開催し、文化財情報の提供、市史等の普及、文化財保護の啓発に努めています。歴史や文化の継承には、文化財の公共性を基本に生涯学習や学校教育と連携した取組も必要です。このため、郷土の歴史や史跡、文化財の史跡ガイド養成講座を開催し、また、市民によるボランティアガイドを育成するなど、市民とともに歴史、文化財等を保全・継承していくことが重要です。
- 郷土資料室は、建設から年数が経過しているため、施設の延命化と展示公開の環境を更に向上させるため、収蔵庫の充実と施設の改修工事等が必要となっています。

〔本項目に関連する市の関連計画（主要計画）〕

- ◇ 福生市教育振興基本計画
- ◇ 福生市教育推進プラン
- ◇ 福生市生涯学習推進計画

〔市登録文化財・指定数〕

（平成21年3月31日現在）

区 分	件 数	指 定
有 形 文 化 財	29	21
有 形 文 化 財	1	東京都指定
有形民俗文化財	16	5
無形民俗文化財	3	—
史 跡	5	4
天 然 記 念 物	8	3
合 計	62	33

注）指定の欄の数字は、指定文化財の点数を表す。

出典：「福生市事務報告書」

施策の方向

地域の歴史を大切にし、文化遺産の保全と継承に努めます。そして、郷土を愛し、誇りに思う市民をはぐくみます。

基本事業と取組

1 歴史・文化遺産の保全と継承

- 文化財総合調査を実施し、文化遺産の保存・保護、継承に努めていくとともに、福生市文化財保護条例に基づき、文化財の登録、指定を行い、適切に保存します。また、適切な保存を行うため、市指定文化財及び市登録文化財の管理者に対し、奨励金を交付し、支援に努めていきます。
- 郷土資料室における文化財等の展示公開の充実に努めます。また、市史資料や歴史文化遺産、郷土資料を広く公開していくため、郷土資料室ホームページ等により充実した情報提供を行うとともに、文化財の公開体制の充実に図るため、データベース化などによる資料整理を進めます。また、郷土資料室や収蔵資料の保管場所などの施設の充実に努めていきます。
- 市民による歴史文化財ガイドの人材育成を推進していきます。また、生涯学習や学校教育などと連携し、講演会、講座・教室など郷土学習を実施するとともに、郷土学習のための図書館の地域資料の提供を充実します。更に、歴史文化遺産を活用した文化財見学会などの体験型学習会等を実施します。
- 歴史・文化遺産の保存と継承の取組をとおして、また、市内の特徴を生かしたまちづくりへの参加などにより、地域を愛し、地域を誇りに思う「福生人」の育成を図ります。

成果指標

指標名		現状値	目標値 (平成26年度)
指標1	登録文化財登録数	62件 (H20)	70件

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業(取組)	事業費(千円)	主な事業(取組)
歴史・文化遺産の 保全と継承	文化財総合調査	13,675	
	特別展・企画展の開催	8,410	
	文化財ガイド養成講座	640	



施策8 芸術・文化の振興

現状と課題

- 芸術・文化は私達の生活に彩りと潤いを与えてくれます。そして、日本や身近な地域における芸術・文化を継承し、更に、新しい文化を創造しながら豊かな人間性をはぐくみ、国際社会における日本人としての主体性を発揮していくことが重要です。
- 市内には、市民会館、茶室、プチギャラリーなどの文化芸術施設があり、文化協会などの団体をはじめ、多くの市民が様々な芸術・文化活動に利用しています。また、市民文化祭や市民音楽祭を実施し、市民に活動成果を発表する機会を提供するなど、芸術・文化の振興に努めています。更に、市民の文化活動の促進と活動環境の整備を進めていくため、市民に優れた芸術・文化に触れられる機会を提供していく必要があります。

〔本項目に関連する市の関連計画（主要計画）〕

- ◇ 福生市教育振興基本計画
- ◇ 福生市教育推進プラン
- ◇ 福生市生涯学習推進計画

〔市民会館利用者数〕



注) H17年7月～H18年1月まで施設のリニューアル事業を実施。

出典：「福生市事務報告書」

〔プチギャラリー入場者数〕



出典：「福生市事務報告書」

施策の方向

芸術・文化の振興を図るため、市民の芸術・文化活動の環境を充実させ、幅広い交流活動を推進します。そして、地域を誇りに思う「福生人」をはぐくんでいくことに努めます。

基本事業と取組

1 芸術・文化の振興

- 市民会館における主催事業をはじめ、芸術・文化事業の企画段階からの市民参画を促進し、芸術・文化活動を行う市民団体・グループの活動を支援します。また、芸術・文化活動の場所の提供を行うとともに、文化祭や音楽祭の開催など市民が発表できる場を設けていきます。更に、芸術・文化における地域間交流や国際交流を推進します。
- 芸術・文化の振興をとおして、地域で活躍し地域を誇りに思う「福生人」（福生の歴史や文化を愛し、誇りに思い大切に守ろうとする市民）の育成を図ります。そして、市民と行政の協働によるまちづくりが図られるよう効果的な連携を目指します。
- 各施設の適正な維持管理に努め、更に、市民ニーズを考慮し、利便性の向上と運営の充実に努めていきます。

成果指標

指 標 名		現状値	目標値 (平成26年度)
指標1	市民会館延べ利用者数	146,206人 (H20)	153,500人

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業（取組）	事業費（千円）	主な事業（取組）
芸術・文化の振興	文化祭の開催	22,976	
	市民音楽祭の開催	2,783	
	市民会館主催事業	110,000	
	市民会館ホールの提供		
	茶室の提供		
	プチギャラリーの提供		

